

MU909014A/A1/B/B1/15B/B1

ファイバメンテナンステスタ

リリースノート

バージョン 4.04

拝啓、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本リリースノートには、弊社製 MU909014A/A1/B/B1/15B/B1 のファームウェア バージョン 4.04 における新たに追加された機能の情報、既知の不具合の内容、使用上の注意点等の情報を記載しています。今後ともご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

本リリースノートで紹介するファームウェアの対象モデルは下記のとおりです。

**MU909014A, MU909014A1, MU909014B, MU909014B1,
MU909015B, MU909015B1**

注意：ファイバメンテナンステスタシリーズは、お客様が購入されたモデルによってファームウェアの種類が異なります。下記のモデルは本ダウンロードファイルのファームウェアと異なりますので、対象のファームウェアをダウンロードしてください。

**MU909014C, MU909014C6,
MU909015A6, MU909015C, MU909015C6**

目次

項目	内容
1. リリースしたファームウェア ・・・P3	今回リリースしたファームウェアのバージョンと取扱説明書の版数を表記します。
2. 対象機種 ・・・P3	ファームウェアのアップグレードが可能な機種です。
3. バージョン情報 ・・・P3	今回リリースしたファームウェアの詳細なバージョンを表記します。
4. 新たに追加された機能 ・・・P4	今回のファームウェアで追加される機能の紹介です。
5. 修正した不具合 ・・・P11	今回までのファームウェアで修正される不具合を表記します。
6. 既知の不具合 ・・・P15	現在判明している不具合内容を表記します。これらの不具合は次回以降のファームウェアで対応する予定です。
7. 使用上の注意 ・・・P15	MU909014A/A1/B/B1, MU909015B/B1 を使用する 場合の注意事項を表記します。取扱説明書と平行し てお読みください。
8. ファームウェアの更新 時における注意点 ・・・P16	ファームウェアの更新を実施するときの注意点を記 載します。取扱説明書と平行してお読みください。

1. リリースしたファームウェア

今回、リリースされたファームウェアのバージョンおよび取扱説明書の版数は以下のとおりです。
機能については「4. 新たに追加された機能」、「5. 修正した不具合」をご参照ください。

ダウンロードファイル名	型名	バージョン
MU909014A/A1/B/B1/15B/B1 ダウンロードファイル	FMT_v404_J.zip	4.04
取扱説明書	型名	版
MU909014A/A1/B/B1/C/C6, MU909015A6/B/B1/C/C6 取扱説明書	W3586AW	24 版

2. 対象機種

アップグレードの対象機種は下記の通りです。

MU909014A, MU909014A1, MU909014B, MU909014B1

MU909015B, MU909015B1

3. バージョン情報

今回のアップグレードによる、ファームウェアのバージョンを以下に示します。本体にインストールされているバージョンは自己診断画面で確認できます。

対象品名	バージョン
MU909014A/A1/B/B1/15B/B1 ファームウェア更新ファイル	4.04

4. 新たに追加された機能

今回のファームウェアバージョン 4.04 で追加された主な機能

- なし。

本ファームウェアをインストールすると、4.02 以前のファームウェアにダウングレードすることが出来ません。

＜ファームウェアバージョン 4.02 で追加された主な機能＞

- なし。

＜ファームウェアバージョン 4.01 で追加された主な機能＞

- G0306C ファイバスコープに対応しました。

＜ファームウェアバージョン 4.00 で追加された主な機能＞

- なし。

＜ファームウェアバージョン 3.05 で追加された主な機能＞

- なし。

＜ファームウェアバージョン 3.04 で追加された主な機能＞

- Adobe Flash がなくてもリモート GUI 機能が使用できるようになりました。
なお、リモート GUI 機能自体の機能変更はありません。

＜ファームウェアバージョン 3.03 で追加された主な機能＞

- なし。

<ファームウェアバージョン 3.00 で追加された主な機能>

- 「MT9090A-001 ファイバメンテナンステスタ専用」オプションに対応しました。

<ファームウェアバージョン 2.35 で追加された主な機能>

- なし。

<ファームウェアバージョン 2.34 で追加された主な機能>

- PON の設定で 2x8 のスプリッタが選択できるようになりました。

<ファームウェアバージョン 2.33 で追加された主な機能>

- なし

<ファームウェアバージョン 2.32 で追加された主な機能>

- なし

<ファームウェアバージョン 2.31 で追加された主な機能>

- なし

<ファームウェアバージョン 2.30 で追加された主な機能>

- 1 から 50km の距離レンジで選択可能なパルス幅が追加されました。
- パワーメータに 1579nm が追加されました。

<ファームウェアバージョン 2.29 で追加された主な機能>

- なし

<ファームウェアバージョン 2.28 で追加された主な機能>

- なし

<ファームウェアバージョン 2.27 で追加された主な機能>

- G0306B ファイバスコープに対応しました。G0306B では 60 度チップが使用できます。
- Fiber Visualizer で複数の VIP イメージ（最大で 6 枚）を PDF レポートに出力できるようになりました。

<ファームウェアバージョン 2.25 で追加された主な機能>

- なし

<ファームウェアバージョン 2.24 で追加された主な機能>

- 測定したファイバの起点（0 位置）を設定できるようになりました。
起点は、イベント番号もしくは距離で設定できます。設定を変更するには、設定画面の[3]タブを表示します（距離で設定する場合は、相対測定をオフセットにします）。
- サマリに出力される Max Splice 値は、一番損失が大きい非反射イベントの値が出力されるようになりました。非反射イベントがない場合は、「---」が出力されます。

<ファームウェアバージョン 2.23 で追加された主な機能>

- 選択した SOR ファイルから測定結果のサマリをテキスト形式で出力できるようになりました。サマリには、以下の内容が出力されます。
 - ・ 測定機器や日時などのヘッダー情報
 - ・ 波長や全ファイバ損失、イベント数などの測定結果サマリを作成するには、トップメニューで Menu キーを押して「サマリの作成」を選択します。
- SOR・XML ファイル保存時に、ヘッダー情報を含めて保存できるようになりました。
ヘッダー情報には、ケーブル ID、起点、終点、方向などを入力できます。
ヘッダー入力画面は、波形の保存画面のヘッダー(F2 キー)を押すと表示されます。
- 電源を落とした時、「シャットダウン中」と表示されるようになりました。
- Fiber Visualizer のイベント編集機能で、解析しきい値の制限に関係なくイベントタイプを変更できるようになりました。
反射、非反射、グループ、スプリッタ、マクロバンドイベントから、全てのスプリットイベントや遠端イベントに変更できます。

＜ファームウェアバージョン 2.22 で追加された主な機能＞

- 測定条件設定画面に PON 構成の設定を追加し以下の事ができるようになりました。
 - ・ スプリッタの分岐数に応じた良否判定。
 - ・ 分岐数毎のスプリッタ検出しきい値の、解析しきい値設定画面での一括設定。
 - ・ イベントテーブルへのスプリッタ分岐数の表示。
 - ・ XML ファイルへの分岐数毎の Splitter 情報の追加。
- Fiber Visualizer で、「全て自動設定」で測定すると自動的にパルス幅を切り替えて測定を行うようになりました。各パルスで検出したイベントを合成して、より高精度にイベントを検出できます。
- 「波形の保存形式」に「ZIP」を追加しました。2 波長測定時の SOR ファイルを 1 つの ZIP ファイルに保存し、読み込めるようになりました。
- Fiber Visualizer のイベント画面で、モード(F2 キー):「イベント編集」を選択しているとき、イベントタイプの編集ができるようになりました。
- 良否判定しきい値設定画面のイベント損失を、反射イベントと非反射イベントの個別に設定できるようになりました。

<ファームウェアバージョン 2.21 で追加された主な機能>

- なし

<ファームウェアバージョン 2.20 で追加された主な機能>

- なし

<ファームウェアバージョン 2.20 で追加された主な機能>

- 自動保存機能で測定結果を保存するフォルダを選択できるようになりました。
- 自動保存機能で設定可能なファイル名が 21 文字になりました。
(ただし、ファイバスコープは従来通り 14 文字)
- Fiber Visualizer が各国の言語に対応されました。
- トップメニュー以外でも Bluetooth デバイスが自動認識されるようになりました。

<ファームウェアバージョン 2.19 で追加された主な機能>

- なし

<ファームウェアバージョン 2.18 で追加された主な機能>

- Chinese(S)のフォントが変更されました。
- VIP のファイバタイプで、SM PC>45 が SM UPC>45 に変更されました。
- VIP レポートのレイアウトが以下のように変更されました。
 - ・ プローブ、フェルールアダプタ、ファイル名、画像の保存時刻の表を削除し、結果の表にそれらを統合しました。
 - ・ 結果の表から合否判定の項目を削除し、新しく合否判定の表を追加しました。
- 以下の画面で、連番開始番号の範囲が 0 から 9999 になりました。また、初期値は 1 です。
 - ・ 設定—自動保存—設定画面 (OTDR、Fiber Visualizer)
 - ・ 自動保存設定画面 (VIP)

<ファームウェアバージョン 2.17 で追加された主な機能>

- なし

<ファームウェアバージョン 2.14 で追加された主な機能>

- トップメニュー画面に Fiber Visualizer 機能が追加されました。
Fiber Visualizer はファイバの接続点や障害点がグラフィカルなアイコンで表示され、ファイバに発生している問題個所が簡単に分かります。
- スプリッターの解析しきい値を分岐数で設定できるようになりました。
分岐数を選択すると、しきい値が自動的に設定されます。
- メニューから解析しきい値と良否判定しきい値を変更できるようになりました。
OTDR や Fiber Visualizer では、特定の画面ではなく、Menu キーを押してメニューからしきい値を変更できます。
- Reflectance と ORL の計算結果に不等号が表示されなくなりました。

<ファームウェアバージョン 2.13 で追加された主な機能>

- 自動電源オフの設定値に 10 分が追加されました。
また、以下の初期値が変更されました。
 - ・自動バックライトオフ : 30 秒 → 5 分
 - ・自動電源オフ : 無効 → 10 分

<ファームウェアバージョン 2.12 で追加された主な機能>

- なし

<ファームウェアバージョン 2.11 で追加された主な機能>

- なし

<ソフトウェアバージョン 2.10 で追加された主な機能>

- VIP 画面で端面画像の合否判定ができるようになりました。
IEC 61300-3-35 に準拠し、被測定ファイバの端面を自動的に検査することができます。解析した結果は、端面画像と一緒にレポート形式で PDF ファイルに出力することができます。
- 制御端末からリモートで本体を制御できるようになりました。
無線で接続する場合、本体側に USB Wi-Fi ドングルが必要となります。また、有線で接続する場合は、USB イーサネット変換機が必要となります。
- 制御端末と本体間でフォルダの共有ができるようになりました。
ドメインに参加している PC の共有フォルダにもアクセスできます。
- Bluetooth でファイルの送受信ができるようになりました。
本体側、制御端末側、それぞれからお互いの共有フォルダにアクセスし、ファイルの送受信や削除ができます。
- OTDR 画面で、マクロバンドを検出できるようになりました。
1310nm と 1550nm の波長を使って、マクロバンドイベントを見つけられます。
- OTDR 画面で、1310/1550nm の 2 波長測定ができるようになりました。
これまで手動で波長を切り替える必要がありましたが、自動的に波長を切り替えて測定できます。
- OTDR 画面で、IOR を設定する際に表示されるタイプを選択できるようになりました。
必要なファイバタイプだけを表示させることができます。
- OTDR 画面で、2 点間損失 (LSA) モードが追加になりました。
- 本体の起動時にパスワードロックをかけることができるようになりました。

<ソフトウェアバージョン 1.05 で追加された主な機能>

- なし

<ソフトウェアバージョン 1.04 で追加された主な機能>

- パワーメータ画面でゼロオフセットを実行できるようになりました。
パワーを測定する前にゼロオフセットを実行することにより、正確な値を取得することができます。

5. 修正した不具合

ファームウェアバージョン 4.04 にて修正した不具合情報の詳細を示します。以下の表を参照ください。

対象品名	アップグレード内容(管理番号)
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V4.04)	<ul style="list-style-type: none"> 製品の製造検査に関連する機能を改善しました。 本ファームウェアをインストールすると、4.02 以前のファームウェアにダウングレードすることが出来ません。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V4.02)	<ul style="list-style-type: none"> 一部限定モデルで生じていた表示不具合を改善しました（本不具合は V4.01 搭載時のみ発生します）。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V4.01)	<ul style="list-style-type: none"> リモート GUI でファイルの送受信が行えない不具合を修正しました。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V4.00)	<ul style="list-style-type: none"> 製品の製造検査に関連する機能を改善しました。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V3.05)	<ul style="list-style-type: none"> 製品の製造検査に関連する機能を改善しました。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V3.04)	<ul style="list-style-type: none"> なし
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V3.03)	<ul style="list-style-type: none"> PON スプリッタ損失の測定精度を向上しました。 OTDR ポートの接続損失が正しくないことがある不具合を修正しました。 イベント検出の性能を向上しました。 OTDR 波形が稀に低下することがある不具合を修正しました。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V3.02)	<ul style="list-style-type: none"> 製品の製造検査に関連する機能を改善しました。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V3.01)	<ul style="list-style-type: none"> 製品の製造検査に関連する機能を改善しました。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V3.00)	<ul style="list-style-type: none"> 全損失が正しく計算されないことがある不具合を修正しました。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V2.35)	<ul style="list-style-type: none"> パワーメータ画面でパワーの値が小数点以下第二位まで測定されるよう修正しました。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V2.34)	<ul style="list-style-type: none"> 測定結果を ZIP 形式で保存できないことがある不具合を修正しました。

MT9090A ネットワークマスタシリーズ
MU909014A/A1/B/B1/15B/B1 ファイバメンテナンステスタ
リリースノート

(つづき)

対象品名	アップグレード内容(管理番号)
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V2.33)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ OTDR や Fiber Visualizer で自動設定が正しく動作しないことがある不具合を修正しました。 ➤ 自動的に本体の電源が切れた場合、OTDR や Fiber Visualizer が起動しないことがある不具合を修正しました。 ➤ 自動的に本体の電源が切れた場合、波形データの保存先が Properties フォルダになることがある不具合を修正しました。 ➤ 日本語表示を選択しているときにバッテリー警告が英語で表示されていた不具合を修正しました。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V2.32)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 製品の製造検査に関連する機能を改善しました。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V2.31)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ZIP 形式で正しく保存できないことがある不具合を修正しました。 ➤ 製品の製造検査に関連する機能を改善しました。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V2.30)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Fiber Visualizer の「全て自動設定」機能を調整しました。 ➤ VIP で解析時に本体の電源が切れてしまうことがある不具合を修正しました。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V2.29)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 製品の製造検査に関連する機能を改善しました。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V2.28)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ORL の Pass/Fail 判定が正しくないことがある不具合を修正しました。 ➤ OTDR でスプリットイベントが Pass/Fail 判定されないことがある不具合を修正しました。 ➤ ORL の値が正しく計算されないことがある不具合を修正しました。 ➤ トータルロス の値が正しく計算されないことがある不具合を修正しました。 ➤ 伝送損失の計算方法を調整しました。 ➤
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V2.27)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 電源を切った時に VIP の設定が保存されていなかった不具合を修正しました。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V2.25)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 波形解析画面で正しいイタリア語が表示されていなかった不具合を修正しました。 ➤ 距離レンジ 10km 以下、パルス幅 20ns 以下、分解能 1m 未満で測定したときに全ファイバ損失（全損失）の値が正しく計算されないことがある不具合を修正しました。 ➤ 測定中にトップメニュー画面へ戻ると、本体が操作できなくなることがある不具合を修正しました。 ➤ 良否判定しきい値を変更しても測定結果が OK にならないことがある不具合を修正しました。 ➤ 測定条件設定画面で全設定初期化を実行した際、Fiber Group が初期化されない不具合を修正しました。

MT9090A ネットワークマスタシリーズ
MU909014A/A1/B/B1/15B/B1 ファイバメンテナンステスタ
リリースノート

(つづき)

対象品名	アップグレード内容(管理番号)
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V2.24)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ なし
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V2.23)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ZIP ファイルの保存に失敗する不具合を修正しました。 ➤ 遠端の検出精度を改善しました。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V2.22)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 測定条件設定画面で可視光源アイコンが表示されない不具合を修正しました。 ➤ 2 波長測定時に、ダミーファイバが表示されない時がある不具合を修正しました。 ➤ Fiber Visualizer で、イベントが 3 個で先頭イベントを選択しているとき、右側のスクロールアイコンが有効にならず、右端ファイバ線も表示されない不具合を修正しました。 ➤ Fiber Visualizer の波形表示画面で、解析しきい値設定を変更し再解析をしても、サマリ画面へ遷移しない時がある不具合を修正しました。 ➤ 解析しきい値設定画面の損失しきい値が反映されないイベントが表示されることがある不具合を修正しました。 ➤ Fiber Visualizer で、配色をブラックにした時の、イベント画面の距離表示を見やすくしました。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V2.21)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ F1 キーを押して本体を起動すると、画面が白くなることがある不具合を修正しました。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V2.20)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 全ファイバ損失の計算結果に NAN と表示されることがある不具合を修正しました。 ➤ 2 波長で測定した際、VFL が選択できなくなる不具合を修正しました。 ➤ 自動保存画面で設定する連番開始番号がインクリメントされるタイミングを変更しました。 ➤ Fiber Visualizer で可視光源を点灯（点滅）した状態で PDF レポート作成画面を表示すると、点灯（点滅）を示すインジケータが表示されない不具合を修正しました。 ➤ Fiber Visualizer で IOR/BSC を変更する際、選択しているイベントとは別のイベント距離が表示される不具合を修正しました。 ➤ Fiber Visualizer で「計算中」メッセージが表示されたままになる不具合を修正しました。 ➤ スペイン語の誤記が修正されました。 ➤ 接続チェック画面で言語設定を切り替えると、F1 キーが無効になる不具合を修正しました。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V2.19)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Fiber Visualizer で、測定モードが 2 波長測定のと看、測定が正常に行われない不具合を修正しました。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V2.18)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Chinese(T)等の一部の言語で、PDF レポートの文字が正しく出力されない不具合を修正しました。 ➤ VIP 画面で G0306A の解析範囲円の大きさを調整しました。

MT9090A ネットワークマスタシリーズ
MU909014A/A1/B/B1/15B/B1 ファイバメンテナンステスタ
リリースノート

(つづき)

対象品名	アップグレード内容(管理番号)
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V2.17)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 本体の電源を入れて Anritsu ロゴマークが表示されたあとに、本体の電源が落ちてしまうことがある不具合を修正しました。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V2.14)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Bluetooth で接続している際、別のデバイスに接続できてしまう不具合を修正しました。 ➤ Wi-Fi のアクセスポイントへの接続に必要なパスワードを、ユーザが操作できない場所に保存するようにしました。 ➤ 空き容量が少ない状態で SOR ファイルに保存すると、エラーが表示されないことがある不具合を修正しました。 ➤ ネットワークデバイスを抜いた際、処理が重くなることがある不具合を修正しました。 ➤ VIP 画面で正しく画面が保存できないことがある不具合を修正しました。 ➤ 言語を英語から日本語に切り替えると、PASS/FAIL 判定が変わってしまうことがある不具合を修正しました。 ➤ 言語を日本語から英語に切り替えると、良否判定しきい値が誤った値になることがある不具合を修正しました。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V2.13)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ なし
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V2.12)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ なし
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V2.11)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ OTDR 画面で距離レンジ、分解能、または、パルス幅を選択した際に本体の電源が落ちてしまうことがある不具合を修正しました。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V2.10)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 言語を切り替えたときに、切り替える前の言語で表示されることがある不具合を修正しました。 ➤ 4GB を超える USB メモリをすると、正常に書き込めないときがある不具合を修正しました。 ➤ バッテリー残量がほぼ 0 に近い状態で起動すると、正常に起動しないことがある不具合を修正しました。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V1.05)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 標準パワーメータでゼロセットが正常に完了しないことがある不具合を修正しました。 ➤ 標準パワーメータで Under Range と **. * が交互に表示されることがある不具合を修正しました。 ➤ 自動保存を有効にしているときに、すでに同名の波形ファイルが保存先にある場合は上書き保存ができない不具合を修正しました。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V1.04)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ パワーメータ画面で変調光 (270Hz、1kHz、2kHz) が入力された場合の光パワーのバラつきを修正しました。
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1 (V1.03)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 波形表示画面に表示される伝送損失 (2PA)、伝送損失 (LSA) の単位を “dB” から “dB/km” に修正しました。 ➤ 日本語言語を選択しているとき、反射減衰量の良否判定しきい値が正しく動作するように修正しました。

6. 既知の不具合

今回のバージョンで確認されている不具合を示します。以下の表を参照ください。

対象	内容	管理番号
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1	➤ なし	

7. 使用上の注意

MU909014A/A1/B/B1/15B/B1 を利用する際に注意していただきたい内容です。以下の表を参照ください。

対象	内容	管理番号
MU909014A/A1/B/B1 MU909015B/B1	➤ 市販されている USB メモリについて、使用できないものがあります。アンリツで動作確認を行った USB メモリについては「8. ファームウェア更新時における注意点」を参照ください。 ➤ 本器のファームウェアをアップデートする場合は、ネットワークマスタシリーズファイバメンテナンステスタ取扱説明書「12.2 ファームウェアを更新する」をよくお読みください。	

本器での動作確認済みリスト

USB イーサネットコンバータ	
Planex	UE-100TX-G3
USB Wi-Fi ドングル	
BUFFALO	WLI-UC-GNM
I-O DATA	WN-G300U
Logitec	LAN-W150N/U2
	LAN-W300N/U2
Sitecom	WL-329
	WL-345
	WLA-4000
USB Bluetooth ドングル	
BUFFALO	BSHSBD04BK
	BSHSBD05BK
	BSHSBD08BK
IOGEAR	GBU421
Logitec	LBT-UAN01C1
Planex	BT-Micro3H2X
	BT-MicroEDR1X
Sanwa Supply	MM-BTUD27
Targus	ACB20EU
Technika	NBA111

8. ファームウェア更新時における注意点

- 最新のファームウェアは以下の URL より入手できます。
<https://www.anritsu.com/ja-jp/test-measurement/support/downloads?model=MU909014A1/B1/C/C6/15B1>
- 弊社が動作確認している USB メモリを以下に記載します。お客様のお使いになっている USB メモリが本器で認識されない場合は、表中の USB メモリを利用してください。

Manufacturer	Model/capacity
Sony	POCKET BIT/32MB
Sony	POCKET BIT 512MB Turbo
GREEN HOUSE	PicoDrive/64 MB
TOSHIBA	TransMemory/256 MB
TOSHIBA	TransMemory/512 MB
ADTEC	DATASTICK/64 MB
Princeton	X i a o Jr./64 MB
BUFFALO	RUF2 - E1G - B/512MB
I-O DATA	ToteBag/512MB
Scan Disk	Cruzer Micro with Skins USB Flash Drive/256MB
imation	Flash Drive Mini with swivel cap/256MB
Transcend	JetFlash / 256MB

- USB メモリを利用してファームウェアの更新を実行しているときに、本器に挿入した USB メモリを取り外さないでください。ファームウェアの更新に失敗し、本器が再起動しなくなる場合があります。
- ファームウェアの更新を実行しているときに、画面で指示された以外のボタンを押さないでください。ファームウェアの更新に失敗し、本器が再起動しなくなる場合があります。
- ファームウェアの更新を実行しているときに、本器の電源を切らないでください。ファームウェアの更新に失敗し、本器が再起動しなくなる場合があります。
- ファームウェアの更新を実行しているときに、本器の AC アダプタを抜かないでください。ファームウェアの更新に失敗し、本器が再起動しなくなる場合があります。
- ファームウェアの更新に失敗し、本器が起動しなくなった場合、弊社担当営業までお問い合わせください。